



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 株式会社 平和 上場取引所 東
コード番号 6412 URL <https://www.heiwanet.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嶺井 勝也
問合せ先責任者 (役職名) 部長 兼 経営企画グループ (氏名) 高木 幹悦 TEL 03-3839-0701
上席執行役員管理本部副本
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	206,554	73.9	42,916	49.2	35,747	25.4	17,056	△17.1
	118,782	15.5	28,768	49.0	28,496	53.6	20,583	77.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 17,520百万円 (△14.2%) 2025年3月期第3四半期 20,410百万円 (89.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 172.94	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	208.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円 1,103,579	百万円 253,948	% 23.0	円 銭 2,572.56
2025年3月期	1,104,151	244,331	22.1	2,475.16

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 253,724百万円 2025年3月期 244,118百万円

(注) 2026年3月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 80.00
2026年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2026年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 257,800	% 76.7	百万円 42,500	% 53.5	百万円 31,700	% 48.6	百万円 7,900	% △39.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

当社グループは、業績管理を年次で行っていることから、通期連結業績予想のみを開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3 Q	99,809,060株	2025年3月期	99,809,060株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3 Q	1,181,996株	2025年3月期	1,181,890株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3 Q	98,627,125株	2025年3月期 3 Q	98,627,390株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。
2. 決算補足説明資料は当決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(企業結合等関係)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

ゴルフ業界では、底堅いプレー需要と比較的安定した天候であったことを背景に、来場者数は概ね堅調に推移しました。一方で、物価上昇や人件費の増加がゴルフ場運営コストに影響を及ぼしており、収益環境については引き続き注意を要する状況となっております。また、人口減少・高齢化に伴うゴルフ人口の構造変化やゴルフ場スタッフの人材不足が顕在化しており、ゴルフ業界全体の課題となっております。このような状況のもと、ゴルフ業界各社はセルフプレー化や業務効率化、IT活用による省人化を進めるとともに、若年層・初心者層の取り込みや付加価値サービスの提供を通じて、需要の維持・拡大及び収益基盤の強化に取り組んでおります。

遊技機業界では、パチスロ機はスマートパチスロが普及し、高稼働を継続するヒット機種が多数導入され、市場環境は好調に推移しております。一方で、パチンコ機は話題性のある機種が発売されているものの、稼働の底上げには繋がっておらず、全体的な稼働はやや低調に推移しております。

このような経営環境下、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高206,554百万円（前年同期比73.9%増）、営業利益42,916百万円（前年同期比49.2%増）、経常利益35,747百万円（前年同期比25.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益17,056百万円（前年同期比17.1%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業は、適正な価格施策によるレベニューマネジメントの強化やインバウンド需要の取り込み、女性・若年層ゴルファーの獲得、グループシナジーの創出など、収益の最大化に向けた取り組みを推進いたしました。また、他社との差別化施策として「Night Golf」営業の拡充や、「Cool Cart」（送風機付ゴルフカート）の導入台数の拡大、お客様がツアープロと同じ組でプレーし、プロの技術や戦略を間近で体感できる特別な企画「あこがれのツアープロと夢のラウンド～THE PREMIUM GOLF～（ザ プレミアム ゴルフ）」を実施いたしました。さらに、アコーディア・ゴルフにおいては、2025年10月よりサポートプロと一緒にプレーを楽しめる「withGolf」サービスを開始するとともに、日本を代表する威厳と品位を兼ね備えたハイグレードなゴルフ場として新ブランド「GRAND」の運営を6カ所のゴルフ場で開始いたしました。加えて、当社グループ初のラグジュアリーホテルとなる「PGMホテルリゾート沖縄」のグランドオープンを2026年7月3日に決定いたしました。これに先立ち、2026年4月25日より先行営業を予定しており、現在、開業に向けた準備を鋭意進めております。

売上高及び利益面につきましては、前期に取得したアコーディア・ゴルフの業績を反映したこと、来場者数・顧客単価が堅調に推移したことにより、前年同期比で増収、増益となりました。

以上の結果、売上高183,207百万円（前年同期比130.3%増）、営業利益42,988百万円（前年同期比139.6%増）となりました。

(遊技機事業)

遊技機事業は、パチンコ機は「e範馬刃牙」、「P戦国乙女7 終焉の闇ヶ原 LLサイズ 299ver.」等を発売し、販売台数25万台（前年同期比16万台減）、パチスロ機は「L麻雀物語」、「L主役は銭形5」等を発売し、販売台数27万台（前年同期比21万台減）となりました。

売上高及び利益面につきましては、パチンコ機、パチスロ機共に販売台数が減少したため、前年同期比で減収、減益となりました。

以上の結果、売上高23,346百万円（前年同期比40.5%減）、営業利益2,305百万円（前年同期比81.9%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定が行われたことに伴い、前連結会計年度末の数値については当該確定処理後の数値を使用しております。

(資産の部)

総資産は、前連結会計年度末に比べ571百万円減少し、1,103,579百万円となりました。有価証券（投資有価証券含む）が1,182百万円、有形固定資産は「PGMホテルリゾート沖縄」の建設工事の進捗等により15,453百万円増加する一方、現金及び預金が5,372百万円、のれんが5,265百万円、投資その他の資産のその他が6,589百万円減少しております。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ10,188百万円減少し、849,630百万円となりました。流動負債のその他が3,463百万円増加する一方、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が6,412百万円、未払法人税等が7,242百万円、引当金が1,695百万円減少しております。

(純資産の部)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の組み入れにより利益剰余金が17,056百万円増加する一方、剰余金の配当により利益剰余金が7,890百万円減少したこと等により、前連結会計年度末より9,617百万円増加して、253,948百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の22.1%から23.0%になっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月14日に公表した2026年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2026年2月10日）別途開示いたしました「連結業績予想の修正及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	77,799	72,426
受取手形及び売掛金	12,561	12,386
電子記録債権	799	1,225
有価証券	14,448	14,996
商品及び製品	3,758	3,203
原材料及び貯蔵品	15,949	15,544
その他	12,550	15,468
貸倒引当金	△59	△63
流動資産合計	137,807	135,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	140,491	139,808
コース勘定	377,100	378,886
土地	175,789	175,764
その他（純額）	43,025	57,402
有形固定資産合計	736,407	751,861
無形固定資産		
のれん	147,027	141,762
その他	55,760	53,396
無形固定資産合計	202,787	195,159
投資その他の資産		
投資有価証券	8,520	9,154
その他	18,848	12,259
貸倒引当金	△220	△43
投資その他の資産合計	27,148	21,370
固定資産合計	966,343	968,391
資産合計	1,104,151	1,103,579
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,842	4,952
電子記録債務	2,641	2,134
1年内返済予定の長期借入金	44,433	38,663
未払法人税等	11,145	3,902
引当金	3,685	1,989
その他	43,663	47,126
流動負債合計	111,411	98,769
固定負債		
長期借入金	583,992	583,349
退職給付に係る負債	5,425	5,316
その他	158,989	162,194
固定負債合計	748,407	750,861
負債合計	859,819	849,630

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	54,864	54,864
利益剰余金	173,612	182,778
自己株式	△1,357	△1,357
株主資本合計	243,874	253,040
その他包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291	725
退職給付に係る調整累計額	△47	△41
その他の包括利益累計額合計	243	684
非支配株主持分	213	224
純資産合計	244,331	253,948
負債純資産合計	1,104,151	1,103,579

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	118,782	206,554
売上原価	72,149	133,324
売上総利益	46,633	73,230
販売費及び一般管理費	17,865	30,314
営業利益	28,768	42,916
営業外収益		
受取利息	74	225
受取配当金	65	148
受取賃貸料	45	202
受取保険金	140	142
売電収入	90	136
固定資産売却益	92	48
その他	194	434
営業外収益合計	703	1,337
営業外費用		
支払利息	523	7,304
支払手数料	84	57
固定資産除却損	69	389
その他	298	754
営業外費用合計	975	8,506
経常利益	28,496	35,747
特別利益		
固定資産売却益	—	265
特別利益合計	—	265
特別損失		
固定資産売却損	—	246
特別損失合計	—	246
税金等調整前四半期純利益	28,496	35,766
法人税等	7,912	18,687
四半期純利益	20,583	17,079
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,583	17,056
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	23
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△181	434
退職給付に係る調整額	8	6
その他の包括利益合計	△172	440
四半期包括利益	20,410	17,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,410	17,496
非支配株主に係る四半期包括利益	—	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	28,496	35,766
減価償却費	6,707	17,239
のれん償却額	296	5,606
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△13	△172
賞与引当金の増減額（△は減少）	△547	△1,275
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△11	△98
受取利息及び受取配当金	△140	△373
支払利息	523	7,304
支払手数料	84	57
為替差損益（△は益）	△0	△0
固定資産売却損益（△は益）	△92	△48
固定資産除却損	69	389
前渡金の増減額（△は増加）	539	93
前払金の増減額（△は増加）	△279	237
未取消費税等の増減額（△は増加）	1,238	76
売上債権の増減額（△は増加）	△2,960	△77
棚卸資産の増減額（△は増加）	83	999
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,081	△1,616
未払金の増減額（△は減少）	△915	△1,888
未払消費税等の増減額（△は減少）	1,105	1,800
前受金の増減額（△は減少）	830	△2,376
会員預り金の増減額（△は減少）	△847	△1,908
その他	△76	△188
小計	33,009	59,548
利息及び配当金の受取額	131	354
利息の支払額	△492	△3,900
法人税等の支払額	△9,827	△20,430
法人税等の還付額	464	53
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,285	35,625
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△13,060	△22,150
定期預金の払戻による収入	11,810	24,090
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△44,493	△25,298
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	44,995	25,336
有形固定資産の取得による支出	△13,549	△22,859
有形固定資産の売却による収入	93	1,135
無形固定資産の取得による支出	△87	△200
連結の範囲の変更を伴う子会社株式等の取得による支出	△1,034	△1,446
その他	81	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,245	△21,404
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	13,434	14,809
長期借入金の返済による支出	△7,576	△21,260
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△441	△2,328
配当金の支払額	△7,862	△7,857
その他	0	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,446	△16,649
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	5,593	△2,428
現金及び現金同等物の期首残高	39,874	74,707
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,467	72,279

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(棚卸資産の評価方法の変更)

一部の連結子会社では、商品の評価方法について、従来、主として先入先出法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、主として総平均法に変更いたしました。この評価方法の変更は、管理システムの整備を契機として、より迅速かつ適正な期間損益計算を行うことを目的としたものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じる方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	ゴルフ事業	遊技機事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	72,019	39,214	111,233	—	111,233
一定の期間にわたり移転される財	7,549	—	7,549	—	7,549
顧客との契約から生じる収益	79,568	39,214	118,782	—	118,782
外部顧客への売上高	79,568	39,214	118,782	—	118,782
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	—	2	△2	—
計	79,571	39,214	118,785	△2	118,782
セグメント利益	17,943	12,754	30,698	△1,929	28,768

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,929百万円には、セグメント間取引消去10百万円及び配賦不能営業費用△1,940百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	ゴルフ事業	遊技機事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	170,633	23,346	193,980	—	193,980
一定の期間にわたり移転される財	12,574	—	12,574	—	12,574
顧客との契約から生じる収益	183,207	23,346	206,554	—	206,554
外部顧客への売上高	183,207	23,346	206,554	—	206,554
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	—	2	△2	—
計	183,210	23,346	206,557	△2	206,554
セグメント利益	42,988	2,305	45,293	△2,377	42,916

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,377百万円には、セグメント間取引消去17百万円及び配賦不能営業費用△2,395百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ゴルフ事業」セグメントにおいて、2025年1月31日に行われたPJC Investments株（現株アコーディア・ゴルフホールディングス）との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行つておりましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。

詳細につきましては、「注記事項（企業結合等関係）」をご参照ください。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2025年1月31日に行われたPJC Investments株（現株アコーディア・ゴルフホールディングス）との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行つておりましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、企業結合日における識別可能な資産及び負債の特定並びに時価の算定が完了したため、のれんとして計上していた金額の一部を組み替えております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額260,222百万円は、会計処理の確定により119,225百万円減少し、140,996百万円となっております。

また、前連結会計年度末においては、のれんが119,225百万円、有形固定資産のその他（純額）が13百万円減少した一方、建物及び構築物（純額）が21,782百万円、コース勘定が74,419百万円、土地が24,697百万円、無形固定資産のその他が50,885百万円、投資その他の資産のその他が6百万円、固定負債のその他が52,535百万円、非支配株主持分が16百万円増加しております。